

株式会社 松屋 2018年2月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	12.3	0.3
② 銀座店	13.1	0.7
③ 浅草店	-0.2	-0.6

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移 (単位:%)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
銀座本店	0.9	4.0	-2.3	-0.6	6.5	10.0	13.5	8.1	11.4	2.9	1.3	12.3
松屋銀座	1.4	3.0	-2.4	-0.9	7.1	11.0	14.2	8.7	12.3	3.1	1.4	13.1
松屋浅草	-5.0	16.5	-0.4	2.5	-1.3	-0.8	4.0	-0.9	1.8	0.5	0.3	-0.2

3. 店舗別商況

銀座店	銀座店は、曜日廻りによる土日数増(増加による影響は約0.2%増)、春節期間のずれ(前年は1月。ずれによる影響は約6%増)によるプラス要素が売上に大きく反映いたしました。また、半期に一回のカード顧客様特別招待会「春の松美会・感謝祭」では、春物が好調に推移した結果、売上高は前年に対して2桁増となり全体を大きく牽引しました。婦人部門は、気温等の影響によりキャリアの売上動向がやや弱かったものの、高価格帯衣料品のゾーニングにてニット等の動きが良く、衣料品全体の売上高は前年を超えました。免税売上高につきましては、化粧品と時計が引き続き好調に推移いたしました。その結果、銀座店の売上高は8ヶ月連続で前年を超えました。
浅草店	浅草店は、化粧品・婦人衣料が好調も、食品が伸び悩み売上高は僅かに前年に届きませんでした。

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	8.5	8.5
婦人服・洋品	7.7	7.7
子供服・洋品	9.3	9.3
呉服寝具他	-20.2	-20.1
衣料品計	6.3	6.4
身廻り品	14.5	14.5
雑貨	23.8	23.7
家具	-8.6	-8.7
家電	23.9	6.0
家庭用品	-1.8	-2.0
家庭用品計	-4.1	-5.0
食料品	-4.5	-5.0
食堂・喫茶	2.1	2.1
サービス、その他	201.3	226.0
合計	12.3	13.1

商品別概況(銀座店)

*紳士服・洋品は、春物のコート等の好調な売上が全体を牽引し、売上高は大きく前年を上回りました。

*婦人服は、気温等の影響を受けキャリア層でやや鈍さを感じたものの、デザイナーウェア等の高価格帯の衣料品においてニット等の動きが良く、売上高は前年を上回りました。

*雑貨は、化粧品を軸に引き続き国内外のお客様の買上げにて好調に推移し、売上高は大幅に前年を上回りました。

(特記事項)

*特にございませぬ。

*「3月売上速報」は、4/2(月)15時開示を予定しております。